

○議長（茅沼隆文）

それでは、次に入りますが、少し時間を置きましょう。1分ほど。

では、皆さん、準備はよろしいですか。

それでは、日程第8 議案第21号 平成28年度開成町一般会計予算から行いますが、その前に町長から予算の趣旨説明をお願いいたします。

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、説明させていただきます。平成28年度開成町当初予算提案趣旨説明ということで。

平成28年度開成町当初予算の提案にあたり、町を取り巻く状況の認識と、町政運営に対する所信及び施策の概要をご説明させていただきます。

平成28年度の日本の景気は、穏やかな回復基調が続き、雇用・所得環境が改善すると期待するところではありますが、本年1月には日本銀行が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入する必要性に迫られるなど、なお予断を許さない状況が続いております。政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していくため、「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を着実に実行することとしております。

地方自治体にとっても、本年度は一億総活躍社会や地方創生に向けた、まさに勝負の年との認識のもと、真の地方分権を進め、地方の主体的・積極的な取り組みを支えるための十分な財源の確保など地方の自立を実現しつつ、知恵を絞り、地域の実情に応じた主体的な地域づくりに取り組み、地域の活性化と地域の再生を積極的に進めていく必要があります。

平成28年度予算は、このように社会情勢が大きく変化していく中での予算編成となりました。平成28年度は、昨年、新たな市街地として誕生したみなみ地区はもとより、町全体で、更なる定住促進に向けた事業の展開を進めていきます。北部地域では農業をはじめとする産業の活性化を図り、より一層、町の魅力を高めていきます。また、更なる子育て環境の充実を図り、「このまちで子育てをしたい」という魅力あるまちづくりにするため、地域社会全体の絆を強めるとともに、地域社会全体で人を育み、明るい未来に向けた「未来につなぐ人づくり・絆づくり予算」といたしました。

一般会計予算の総額は50億3,565万5,000円で、前年度に比べ0.03%、133万6,000円の減となりました。

歳入では、町税が2,512万8,000円増の26億9,934万9,000円で対前年度伸び率0.9%となり、歳入総額の53.6%を占めております。内訳としましては、町民税（個人）は832万2,000円増の10億882万4,000円です。町民税（法人）は、483万円増の1億1,607万円の歳入を見込んでおります。

また、固定資産税は、特に、みなみ地区での家屋建設に伴う土地の軽減税率の適用による土地分の減収はあるものの、家屋分に関して増収となることから、223万8,000円増の14億2,798万7,000円です。

地方交付税は、平成27年度に引き続き普通交付税交付団体となる見込みで、普通交付税は6,000万円増の2億7,000万円とし、特別交付税を加えた地方交付税全体では2億9,000万円の交付を見込んでおります。

国庫支出金は、765万4,000円増の5億4,053万7,000円としました。このうち、社会資本整備総合交付金などの土木費国庫補助金は4,159万6,000円、民生費国庫補助金は2,923万7,000円を見込んでおります。

県支出金は、新設の民間保育所整備のための安心子ども交付金事業費補助金の増などから、1億3,093万円増の4億8,046万2,000円としております。

繰入金は、財政調整基金を繰り入れないことから、1億217万減の3,046万1,000円を計上いたしました。主な内訳としては、開成幼稚園の大規模改修の財源として学校校舎等整備基金から3,000万円を繰り入れいたします。

町債は臨時財政対策債のみとし、1億4,060万円減の2億6,000万円といたします、

歳出では、中長期的な視点に立ち、選択と集中による事業推進の取り組みを進めます。

目的別では、総務費は公共施設整備基金積立金を増額したことなどにより、8,887万4,000円増の7億9,506万1,000円としました。

民生費は、自立支援給付事業や小児医療費助成事業、保育所充実事業、児童手当等の給付費や委託料であります。前年度に引き続き、臨時福祉給付金給付事業に係る給付費や事務費を計上しております。新設の民間保育所整備のための事業費補助金や自立支援給付事業をはじめとする扶助費を増としたことから、全体では2億768万2,000円増の18億3,092万3,000円としました。

衛生費は各種健診や予防接種の経費、ごみ収集・運搬・処理などの経費ですが、前年度にはグリーンリサイクルセンターの施設購入があったことから、7,795万6,000円減の4億4,380万8,000円としました。

農林水産業費は、北部地域の活性化事業の推進などにより、852万円増の5,071万8,000円です。

土木費については、下水道事業特別会計への繰出金の減や開成駅東口ロータリーの改修工事の完了などから、全体としては前年度に比べ1億4,965万8,000円減の4億4,312万8,000円となり、路面性状調査の結果に基づく町道の補修などに予算を配分いたしました。

消防費は災害対策事業費、情報伝達体制強化事業費、地域防災力強化事業費などで、小田原市への消防事務委託料の減などにより1,115万円減の3億376万4,000円であります。

教育費については、開成小学校、文命中学校への太陽光発電設備設置工事が完了し

たことから、1億1,274万6,000円減の5億4,021万5,000円としました。

性質別では、人件費は808万9,000円減の9億7,147万4,000円です。これは、前年度に統一地方選挙、国勢調査が実施されたことなどによる減です。

物件費は、3,955万4,000円増の8億3,242万3,000円です。駅前通り線の整備に係る現況測量などを行います。

扶助費は、通院助成対象を前年度10月から小学6年生まで拡大した小児医療費が本年度通年化することや、保育所入所児童の増などにより、5,668万4,000円増の10億3,153万5,000円です。

普通建設事業費については、前年度をもってグリーンリサイクルセンターの施設購入や、開成小学校、文命中学校への太陽光発電設備工事が完了したことなどにより、2億6,944万5,000円減の1億8,761万6,000円です。

特別会計では、国民健康保険特別会計が1,781万8,000円減の18億752万4,000円です。療養給付費や後期高齢者支援金、介護納付金を減額といたしました。これは、国民健康保険の被保険者数が前年と比べて減少していることなどによるものであります。

下水道事業特別会計は、2,925万4,000円減の6億1,565万2,000円です。これは、公共下水道事業費の工事請負費が減となったことによるものであります。

介護保険事業特別会計は、要支援・要介護者の増などから8万3,000円増の9億9,637万3,000円です。今年度は、介護予防・日常生活支援総合事業へ段階的に移行いたします。

後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加に伴い、広域連合への負担金が増となったことにより、2,212万9,000円増の1億9,526万9,000円です。

このほか、給食事業特別会計を合わせた五つの特別会計の総予算額は、2,480万1,000円減の37億336万9,000円です。

それでは、平成28年度予定事業の概要について、第五次開成町総合計画の八つの基本政策に沿って申し上げます。

一つ、「町民主体の自治と協働を進めるまち」。

防犯、防災、福祉、教育などの各分野で多様化する町民ニーズに対応し、町民同士の共助を大切にした町民主体の自治を進めるためには、これまで以上に町民、企業、団体などの多様な担い手との協働によるまちづくりの加速化が必要であり、「協働推進特別枠」を設け協働事業に取り組みをいたします。

町の広報紙の紙面づくりや公式マスコットキャラクターのあじさいちゃんの活用に、ボランティアの参画を得て、更なるブランディングの推進を図ります。また、子育て世代の方に企画・運営に参画していただき、魅力ある子ども向けイベントを開催

いたします。自治会活動の活性化に向け、引き続き自治会交付金による財政支援をいたします。また、NPO等、公共活動団体の育成に大変有効であった町民活動事業補助制度を継続し、引き続き町民公益活動の支援に取り組みをいたします。

二つ、「未来を担う子どもたちを育むまち」。

次代の社会を担う子どもたちを安心して生み育てられるように、良好な生活環境の提供など子育て支援を推進いたします。出産や育児の環境づくりとして、健康教育、健康診査、保健指導、家庭訪問等、妊娠中から乳幼児期までの一貫した母子保健サービスを提供いたします。また、子育てに関する不安や悩みを解消できるように講習等を実施し、子育て中の親子の交流や情報交換の場を提供いたします。特定不妊治療費や不育症治療費について、一部助成を継続いたします。

開成駅東口の「ぷらっと・かいせい」内に、未就学児とその保護者の相互交流や子育ての相談・助言をする「子育て支援センター」を開設いたします。開成幼稚園で行っている「のびのび子育てルーム事業」については、3歳児の子ども教室を週1回から週2回に増やし、親子教室とあわせて週3回の幼児教育を実施いたします。

また、幼稚園施設整備事業では、平成31年度からの3歳児教育の開始に向け、開成幼稚園の大規模改修に向けた設計と一部工事を実施いたします。みなみ地区が誕生し、子育て世代の転入などにより、今後ますます高まる保育需要の増加に対応するため、新たな保育所の開設を支援いたします。

昨年、新たな試みとして実施をし好評を得た、子どもたちが自由に思いのまま遊ぶことができる場所を提供するプレイパーク（冒険遊び場）事業について継続・拡大するとともに、事業の普及、定着化を図るため、様々な場所での事業実施をいたします。放課後子ども教室推進事業では、開成小学校と開成南小学校において放課後子ども教室を開催し、放課後の児童の安全で安心な活動拠点を設け、学びや遊びを通して児童の健全育成を図ります。

3、「健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち」。

日本一健康な町を目指して、健康づくりや保健予防の事業に取り組みをいたします。

本年度も、高血圧予防を中心に、健康意識の向上と生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を目指します。自分の血圧を知るために「1日1回は血圧を測ろう」をスローガンに血圧測定の習慣化を図る取り組みや、運動の普及啓発のため日常生活活動時間を10分増やすことを目標とした「+10（プラス・テン）」運動を進めます。

胃がんの早期発見や予防のために、40歳から70歳までの5歳刻みの年齢の方を対象としたリスク検診を引き続き実施いたします。また、「協働推進特別枠」を活用し、町内飲食店組合との協働による食育を推進いたします。「健康づくり応援店」による健康メニューのPRや料理講習会を町民向けに行い、食と健康の重要性の理解促進を図ります。高齢者が安心して暮らすことができるように、認知症対策や生活支援サービスの総合的な展開に向け、体制整備に努めます。

スポーツ振興を図るために、開成町総合型スポーツクラブを軸として、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成を図りながら、誰もがスポーツに親しむことができる

環境を整備いたします。そのほか、「開成町チャレンジデー」を引き続き実施し、町民の運動の習慣化や健康増進を図ります。新たな取り組みとして、子どもたちの教育活動や体験活動の充実を図るため、地域の人材や企業、団体との協力を得て、土曜日ならではのプログラムを実践する土曜学校を創設いたします。

4、「安全で安心して暮らせるまち」。

切迫性が指摘される地震や近年多発する水害などの災害に対し、防災・減災体制の強化が必要であり、町民、民間企業などを含め幅広い防災体制の強化を進めます。

本年度は、神奈川県消防操法大会に特設第1分団が出場を予定しており、操法演技を行うための物品を整備いたします。また、耐切創手袋など消防団員の装備を充実させるとともに、小型動力ポンプ積載車を1台更新いたします。前年度に引き続き、災害時に指揮をとれる地域の防災リーダーの育成を主体とした防災講座を開催し、災害時の対応力強化に努めます。また、災害時の対応策の一つとして、災害時要援護者の受け入れ拡充について、民間福祉施設の事業者との調整を進めていきます。

防犯対策については、町民が安全で安心して暮らせるように防犯体制を強化し、開成駅前公園に防犯カメラを設置いたします。また、設備面の整備だけではなく、防犯パトロールを実施している町民有志の安全サポーターなどの地域組織と連携しながら防犯体制を強化いたします。

交通安全対策としては、子どもたちの交通安全意識の向上を図るため、引き続き小学4年生を対象に自転車運転免許証の交付事業や自転車の安全な乗り方教室を実施いたします。

5、「自然が豊かで環境に配慮するまち」。

地球温暖化対策やエネルギー対策として原子力や化石燃料に頼らない、新エネルギーへの転換が求められており、環境に配慮した取り組みを進めます。

平成26年度から実施をしていた「エコバリューセット」補助制度を改め、更なる低炭素社会の実現及び地球温暖化防止に寄与するため、国の「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業補助金」へ上乘せをする「ゼロエネルギーハウス補助制度」を創設いたします。

日本一きれいな町を目指し、清潔で美しいまちづくりのため、町民、企業、団体などと連携し、地域の環境美化運動として引き続き「かいせいクリーンデー」を実施し環境美化の啓発に努めます。また、不法投棄対策として、不法投棄が多発するごみ置き場に監視カメラを設置いたします。

6、「都市の機能と景観が調和するまち」。

良好な市街地の形成及び駅前通り線の整備による都市機能の強化を図るため、駅前通り線未整備区間について、土地区画整理の手法を取り入れた事業の実施に向けた準備を進めます。本年度は、現況測量などを実施いたします。このほか、路面性状調査の結果に基づき、町内の道路の補修整備も順次進めていきます。

南足柄市と連携して産業集積を目指し、足柄産業集積ビレッジ構想に係る調査を実施いたします。

下水道については、未整備エリアの整備を進めます。上水道については、老朽化施設の改修と耐震化のため、高台第一浄水場のポンプ井更新工事や高台第二浄水場塩素注入ポンプ及び制御盤更新工事などを実施し、水道水の安全供給の確保を図ります。

北部地域のあじさい農道については、きれいなあじさいの花が咲き、あじさいまつりが盛り上がるよう、引き続き植え替えや施肥を行い適切な管理に努めます。

7、「個性豊かな産業と文化を育成するまち」。

個性豊かな町の産業を育成するため、農業や商工業の活性化を図ります。農業を持続性ある産業とするため、所得の向上などが図れるよう、農業者が食品加工や流通・販売などの他産業と連携し、新たな産業を創出する農業の6次産業化に引き続き取り組みをいたします。多面的な機能を有する農地を次世代に引き継ぐため、農業振興、農地保全に取り組みをいたします。あわせて、人口減少や高齢化などに対応した地域の活力を創出するため、あしがり郷瀬戸屋敷や民間活力を総合的に組み合わせた北部地域の活性化事業を展開いたします。

商工業の活性化を図るため、北部地域にあるあじさい農道とあしがり郷瀬戸屋敷を拠点として、引き続きあじさいまつりを開催いたします。本年度は、「協働推進特別枠」を活用し、まつり会場内に農業者等の協働により農産物を直売する休憩所を設置いたします。

目で見ると観光だけではなく、体験農業などの体験型観光も取り入れ、近隣市・町と連携しながら開成町に親しみを持ってもらえるようなイベントを実施いたします。

8、「効率的な自治体経営を進めるまち」。

魅力ある地域づくりを進めるため、協働のまちづくりのための職員研修をはじめとして、引き続き職員向けの各種研修を実施し、政策形成や様々な行政課題に対応できる活力ある職員を育成いたします。

役場庁舎は建設から45年以上が経過し、老朽化やバリアフリー対策がなされていないなどから課題となっており、行政機能の集約化や充実、災害時の防災拠点機能を維持するという観点から拠点となる施設の整備を進めていきます。本年度は、地形測量や地質調査を実施いたします。

以上、平成28年度当初予算に盛り込んだ施策の概要について申し上げます。

平成28年度は、第五次開成町総合計画前期基本計画第2期実施計画のスタートの年になります。第1期実施計画期間では、将来にわたって活力に満ちあふれた町であり続けるため、恵まれた自然を大切にしながら教育環境や子育て環境の充実、土地区画整理事業により良好な住宅地の形成を図るとともに、町の魅力を磨き上げ外部発信するためのブランディングにも取り組んできました。

平成28年度から30年度までの3年間は、町の魅力をさらに高めるため「人づくり」から「まちづくり」、そして「しごとづくり」を念頭に置いて事業を進めていきます。

「人づくり」では、昔から「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼児期は人間形成の基礎を育てる重要な時期であります。大きな教育効果を期待し、本年度から3

歳児教育の導入に向け準備を進めていきます。また、土曜学校の創設により、普段できない体験活動や専門的な指導を受けることにより自分の生き方の発見や生きる力を育みます。子育てや教育を学校だけではなく地域社会全体で応援するまちの実現を目指します。

「まちづくり」については、北部地域では、農業を次世代に引き継ぐとともに、あしがり郷瀬戸屋敷を中心とした交流・活性化を図ります。中部地域では、安全・安心の拠点となる役場庁舎の整備を行うとともに、パークゴルフ場の拡充や生活道路の再生を実施いたします。南部地域では、活力に満ちた元気な町を維持していくため、新たに民間保育所の整備を行うなど子育て世代の定住促進に力を入れていきます。

南部地区土地区画整理事業により新たに生み出した産業エリアへの企業誘致、南足柄市との連携による足柄産業集積ビレッジ構想の実現化など、「しごとづくり」を目指します。

今後、町を持続的に発展させていくためには、町民主体のまちづくりがより一層必要になります。「みんなで町を良くしていこう」、「みんなで子どもたちを育ていこう」という町民全員の想いが、まちづくりの原動力になります。本町においては、活発な自治会の活動など、その土壌がしっかりと根付いており、力強い「地域力」があります。この地域力とともに、限りある財源、社会資源を十分に活用し、皆が住みたいと思う魅力あるまちを一緒につくり上げていきたいと思っております。新年度の施策を進めるに当たり、議会の皆様には一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

以上で、平成28年度開成町当初予算案並びに町政運営に対する所信の説明とさせていただきます。どうぞ、審議をよろしく願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

ありがとうございました。